

2 授業づくり ～よい授業への10のポイント～

1 チャイムで始まり、チャイムで終わる

○授業時間を保障する。教師が時間を守ってこそ、時間を守る児童生徒が育つ。

2 児童生徒の様子を注視し、成果やつまずきを見取る

○児童生徒の言動や変化を見逃さない。目的をもった机間指導を行う。

3 授業の導入で、期待感と見通しを持たせる

○課題設定の工夫や実生活とのつながりで、学ぶことに興味や関心を持たせる。

○授業の「ねらい(課題)」を明確に提示し、見通しを持たせる。

4 授業の流れが見える板書をする

○板書は適切な省略と焦点化をし、児童生徒の意見を生かす。

5 児童生徒が「活動・思考」する時間を確保する

○児童生徒が課題解決に向けて活動、思考する時間を設定する。

○「書く時間」「聞く時間」「話す時間」「読む時間」を明確にする。

6 効果的に1人1台端末・ICT機器を活用する

○用途や目的に応じて、効果的にICT機器を使い、教育効果を高める。

7 ねらいに迫る発問、端的で明確な説明・指示をする

○発問は吟味する。説明・指示は、短く明確に伝える。

8 個別最適な学びで、個を伸ばす

○学習課題の工夫、家庭学習の充実を図り、すべての児童生徒の学力を伸ばす。

9 協働的な学びで、思考を深める

○児童生徒同士の対話、教師とのやり取り、教材等を通して、思考を深める。

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

10 児童生徒の考えや発言を生かして授業をつくる

○課題解決や目標達成に向け、児童生徒が主体性を持てる授業展開を心がける。

○一部の児童生徒の発言や教師にとって都合のよい意見だけで、授業を進めない。

できることから始めて、積み重ねていこう！
一発勝負ではなく、継続することが大切だよ！

